

【課題】

- 外国籍等児童生徒及び日本語指導が必要な児童生徒が急増し、学校での対応の多様化や日本語指導が必要な児童生徒が集中する学校での教科指導時間の確保、子どもの学力向上への対応が困難
- 日本語指導が必要な児童生徒が様々な地域で増加し、これまで受入経験がない学校での受入のための支援が必要
- 年度途中での編入が多く学校での受入や指導の態勢構築が困難

学校での指導・支援や学校への人員配置に加え、日本語支援拠点施設の設置により、多方面からの支援を実施

教育委員会

日本語支援拠点施設

学校ガイダンス

- 学校への入学手続きなどに関して説明
- 入学時必要書類等の記入支援

プレクラス

- 日本語の集中的な初期指導
- 学校生活への適応指導
- 1か月間(週3日)

さくら教室(プレスクール)

- 小学校就学前の幼児・保護者が対象
- 就学前の適応指導
- 保護者への学校ガイダンス

各種研修等

- 日本語指導者養成講座(全7回、国際教室1年目担当者は悉皆)
- 日本語指導者養成中級(全2回)・リーダー養成講座(全5回)
- 国際教室担当者会、相談会

進路支援

- 高校受験に向けた面接練習会の実施
- 教員向け進路研修の実施

「日本語支援アドバイザー」

- 日本語支援拠点施設設置校に配置し、所属校の内外で日本語指導、学習指導等を行うとともに、各校への日本語指導や国際教室運営への支援、研修を実施

日本語教室

- 日本語の初期指導
- 集中教室(全5教室)への通級、または各学校での派遣指導(集中教室は週2回、派遣指導は週1回)

学校

国際教室担当教員

- 一定基準を満たした学校に配置
- 国際教室を設置し、日本語指導、学習指導等を実施

「日本語支援非常勤講師」

- 一定基準を満たした学校に非常勤講師を配置

「外国語補助指導員」、「中学校夜間学級学習支援サポーター」

- 一定基準を満たした学校、中学校夜間学級に母語のできる指導員を配置
- 適応指導、学習指導、保護者連絡等を実施

母語支援ボランティア

- 児童生徒等の母語ができるボランティアによる支援

学校通訳ボランティア

- 個人面談・家庭訪問等における保護者等への通訳

ようこそ横浜の学校へ II IIIは7か国対訳版

- 日本語指導が必要な児童生徒受入の手引き
- 学校用語・通知文対訳集 III 保護者の方へ

帰国児童生徒教育ガイド

ひまわり練習帳1・2、ひまわりカリキュラム ひまわりスタートプログラム

【成果】

① 日本語指導が必要な児童生徒の中で、個別の指導計画を作成した児童生徒の割合: **58.6%**

② 日本語の初期指導が必要な児童生徒のうち、実際に指導を受けることができた児童生徒: **4,605人**

【今後の方向性】

学校の状況に応じた、より効果的な支援のあり方を研究し、日本語支援拠点施設の拡充等、一層の充実を図っていく。